



心と心をつなぐ ココロード通信 滋賀県土木交通部道路課

お知らせ

- ココロード通信16年度第2号です。ココロード通信をよろしく願います。
- 「**標識ボックス**」設置中！
標識に関するご提案やご意見ありましたら標識BOXに願います。
- 「**道の相談室**」
(近畿地区全域)
～「道」についてのご質問・ご相談にお答えします～
フリーダイヤル
ドローよくなれ
0120-106-497
ご利用時間は
9:30～17:00です。
FAX:06-4799-1262
終日利用可能です。
インターネットアドレス
<http://www.kinkiroad.org/soudan/>
終日利用可能です。
- ココロード通信は滋賀県ホームページでも閲覧できます。
<http://www.pref.shiga.jp/h/doro/>

全国道路標識週間！

10月1日から10月7日までの7日間です。標識についてのご意見ありましたら標識BOXへ願います。また、インターネットでも受け付けています。

<http://www.kkr.mlit.go.jp/road/hyoshiki/index.html>

街道めぐり ～ 北国街道 ～

～「今津宿」～

今津宿は、北国街道の宿場町であると同時に、若狭小浜からの物資を運ぶ湖上交通の拠点でもあり、「古津」=木津(新旭町)に対する「新津」として栄えたところ。今も所々にかつての宿場町・港町の面影が残っており、今津の名前の由来となった湖上交通は、竹生島への観光汽船乗り場として名残をとどめています。また、「われは湖の子、さすらいの～」で始まる琵琶湖周航の歌が誕生したのも、この街道沿いの宿であったと言われています。

(今津町建設課)



～「海津宿」～

古代より都と北陸を結ぶ要所であった北国街道に位置する海津宿は、平安時代中頃から湖上を往来する船便の発達で、港町として脚光を浴び栄えるようになりました。江戸時代には軍事・交通・経済上の重要性から幕府直轄地(天領)として押さえられるほど、海津は発展しました。江戸時代の名残はうだつのある町並み、蔵屋敷を思わせる石垣等に今も残っており、当時の繁栄を偲ばせます。

(マキノ町建設課)



道の駅「アグリの郷栗東」紹介

平成15年9月17日に滋賀県栗東市内の県道片岡栗東線沿いに「アグリの郷栗東」がオープンしています。新鮮な地元野菜の直売所やそば・うどん・パン作りが体験できる道場、6つの食品工房などがあります。周辺にはJRAトレーニングセンターや旧和中散本舗、東方山安養寺などの名所・旧跡があります。ぜひ一度立ち寄ってみてはいかがでしょうか。



～「美知普請」取り組みレポート～ 活動団体を紹介します！

美知メセナ

団体名： **佐川急便グループ健康保険組合レークさがわ**

活動場所：守山市木浜地先

路線名： 県道近江八幡大津線（湖周道路）

活動内容など：

会社の地域貢献活動として、道路植栽の管理やその周辺のゴミ拾いなどを行っています。



佐川急便グループさん



道路愛護活動

草津グリーンハイツ北町みどり会さん

団体名： **草津グリーンハイツ北町みどり会**

活動場所：草津市川原二丁目

路線名： 県道草津守山線（湖南幹線）、市道下笠下砥山線

活動内容など：

地域の道路をみんなで守ろうと有志が集まって、植栽管理を中心とした道路管理をおこなっています。夏の湯水時期には水やりもおこなっています。

今日は何の日？

～ 奥琵琶湖パークウェイが

開通した日～

昭和46年(1971年)9月29日は滋賀県西浅井町に位置する奥琵琶湖パークウェイが有料道路として開通した日です。平成元年4月から県道葛籠尾崎大浦線、県道葛籠尾崎塩津線として無料開放されています。



知ってます？豆知識

～『耐候性鋼材』～

「さび」は鉄を劣化させますが、細かい粒子が緻密に並んだ「良いさび(安定さび)」を表面に形成した鋼材はさびの進行を防ぐ効果があり、この鋼材を耐候性鋼材と言います。鋼材表面は初期には普通の「さび」の色と同様の赤褐色ですが、時間が経過すると共に暗褐色となり、周囲の環境に溶け込みやすい色となります。

国道303号補助道路改築(橋梁)工事

岐阜県境から木之本町金居原にかけては、急峻な山岳地形で道路幅員も狭く、異常気象時や冬季は通行止となっています。

これを解消するため木之本建設管理部では、バイパス事業を行っています。このバイパスが完成すると、今まで木之本町金居原から岐阜県揖斐郡坂内村川上までの峠越えに60分程度かかっていたものが、わずか12分で通過できます。この工事は、1級河川杉野川を渡る橋長181.5m、幅員8.5mの鋼製3径間連続非合成箱桁橋を架設しています。

この橋は、塗装作業の不要な耐候性鋼材(右豆知識に書いてます!)を用いることで、ライフサイクルコストの削減を図っています。

(湖北地域振興局

木之本建設管理部)

